

学 位 論 文 要 旨

氏 名 マリカ バダゲ ラナティラカ

題 目 スリランカにおける地域農業発展に果たす組織的貢献
—クルネアガラ県における協同組合を事例に—
Organizational Impact on Rural Agricultural Development in Sri Lanka:
A Case Study on Cooperative Societies in Kurunegala District

独立後、スリランカ政府は国の経済発展のために多様な政策や計画を実施してきたが、十分な成果を上げることはできなかった。しかも、その発展には、経済成長だけでなく国民の生活水準の改善も重要な要素である。国民の生活水準が低い主な理由は、国内の市場が期待どおりに拡大しなかったことにあると思われる。なぜなら、その政策や計画が市場拡大に適合しなかったためであり、これらの政策や計画のほとんどが、貧しい国民が幅広く従事している労働集約的で大多数が小規模産業である農業関連産業に向けられなかったことにある。この鍵となる産業の発展は、市場の拡大や非雇用や貧困の問題の軽減に直接的な効果をもたらすことは明らかである。

既存研究の多くは、農村の農民組織が、この産業に従事する恵まれない人々に、経済的に社会的にバックアップする最も重要な方策の一つと認識している。本研究は、その農民組織が果たす地域農業発展への役割と、農業発展と地域住民の非雇用の軽減や生活水準向上のための農民組織の取組みや事業について検討した。

本研究では、次の3点に焦点をあて分析を行った。第1に、地域農業発展の為の農民組織の役割について、第2に、クルネアガラ県の総合農協の役割について、第3に、クルネアガラ県の総合農協と農民的農協の両タイプの役割について、特に、両タイプの農業改良普及事業とその他事業との関係について、また組合員の生活や社会的地位の向上に果たす事業効果などに焦点を置いた。

以上のような本研究の課題を明らかにするために、クルネアガラ県の全ての総合農協と農民的農協を対象に、また、当該県のメルシリプラ地区とニカワラチャ地区にある両タイプ農協の組合員81組合員農家と116組合員農家を対象に実態調査を行った。

この実証的研究の結果、この組織が、現在のスリランカの政治経済的情勢の中で、①農業生産力改善のための農業改良普及、②多収性種籾や肥料・農薬の供給、③農業金融や地域事業に必要な資本の供給、④農産物販売などの農業発展に関わる多様な事業を行う重要な組織であることを明らかにした。さらに、この協同組合が、農村の金融業者から組合員を守り、集団的にまたは個人的に農業新機軸を取り入れ、地域内雇用機会を作り、労働力の地域間産業間移動を可能とし、社会福祉を向上をさせるような役割を果たしていることを明らかにした。つまり、その組織がゼロ・サムだけが存在する農村へポジティブ・サムを導入したことを明らかにした。

農民が農協から多くのいいサービスを得る為、農民を圃場団地別か小さな村別に集約的かつ積極的に組織化することは重要である。農民とともに農協事業を計画し、決定し、実施していくことは、農民組織の発展に最も重要である。従って、他の農協事業と相互関連のある効果的な農業改良普及、圃場団地別か小さな村別によく組織されたグループ形成、農民参加による決定や農民と組織間での相互作用関係は必要である。協同組合運動の弱点を取除くための管理運営や、スリランカの貧困者が幅広く従事する農業部門に対し政府による農業開発の政策や計画が向けられることが期待される。

学 位 論 文 要 旨

氏 名	MALLIKA BADDAGE RANATHILAKA
題 目	Organizational Impact on Rural Agricultural Development in Sri Lanka: A Case Study on Cooperative Societies in Kurunegala District (スリランカにおける地域農業発展に果たす組織的貢献 —クルネアガラ県における協同組合を事例に—)

Since independence, different governments in Sri Lanka have implemented various policies and strategies to develop the country but these activities have failed to create sufficient results. The main reason for low standard of living of the population is the unexpected result of market expansion. Thus, development policies and strategies did not contribute to improve the market condition for products. Most of these policies were not oriented towards agriculture and related sectors where there is greater participation by the poor in small scale industries and other labour intensive activities. It is obvious that development of this key sector could directly effect to develop the market, reduce the problems of unemployment and poverty.

Most of the previous studies recognized that rural organizations are the one of a most important instrument which empower to underprivileged categories of population in this sector with economically and socially. This thesis examines the contribution of farmer organizations to rural agricultural development and these organizations' approaches and activities to development of agriculture.

This thesis is analysis and discusses the following three steps. The first part of the research was center on the role of farmer organization for rural agriculture development. The second part was center on the role of the MPCs in Kurunegala district. The third part was center on role of MPCs and FCs in the district. It was particularly focus on the activities of the MPCs and FCs and also their effect to member farmers living and social condition.

In line with the above outlined main objectives of the study, two field surveys covering farmer organizations which are all MPCs and FCs in the Kurunegala district and 81 and 116 farmer households who are the members of above cooperatives was carried out in the Melsiripura and Nikawaratiya SD in the district.

Empirical research results show that this institution is crucial to organize which conduct following activities relation to agricultural development under the present political and economical circumstances of Sri Lanka: (i) agricultural extension to improve agriculture production; (ii) provision of high yielding varieties of seed, subsidized fertilizer and pesticides; (iii) provision of agricultural credit and capital for rural projects and; (iv) marketing of agricultural products. Further this organization playing a role such as protect members from exploitation by rural moneylenders, creates employment opportunities, mobility, welfare. In particular, it brings positive-sum to the village where has only existed of zero-sum.

Thus, it is important factor to organize member farmers collectively and actively at field level or small village level to get sound services from cooperatives. Involvement of farmers for planning, decision making and implementation activities are most important factors for towards the success of the farmer organization. It is necessary to rebuild active support and close relationships between cooperatives and members by collective decision-making system. This would need an effective agricultural extension service inter-related with other services and a well organized body at field or village level along with participatory decision-making and having an interactive relationship between farmers and organization. They are expected to get rid of the weaknesses of the cooperative movement and direct government development strategies and policies towards agricultural sector.

学位論文審査結果の要旨

学位申請者 氏 名	MALLIKA BADDAGE RANATHILAKA
審査委員	主査 佐賀 大学 教授 白武義治
	副査 佐賀 大学 教授 小林恒夫
	副査 鹿児島 大学 教授 岩元 泉
	副査 宮崎 大学 教授 小八重祥一郎
	副査 琉球 大学 教授 仲地宗俊
審査協力者	
題 目	Organizational Impact on Rural Agricultural Development in Sri Lanka: A Case Study on Cooperative Societies in Kurunegala District (スリランカにおける地域農業発展に果たす組織的貢献 —クルネアガラ 県における協同組合を事例に—)
<p>スリランカ政府は、独立後、経済発展による国民総生産の拡大だけでなく国民の生活水準の向上を図って、多額の借款や外資導入などによって多様な政策や計画を実施してきたが、十分な成果を上げることはできなかった。国民の生活水準が低い主な理由は、これらの政策や計画のほとんどが、大多数の貧しい国民が幅広く従事している小規模で労働集約的な農業関連産業に向けられなかったことにあるとみられる。この鍵となる農業関連産業の発展は、非雇用や貧困の問題を軽減し国内の消費市場拡大に直接的な効果を期待できるが、国内の消費市場は期待どおりに拡大しなかった。</p> <p>スリランカにおける既存研究の多くは、多様な協同組合など農村の農民組織が、この農業関連産業に従事する貧しい人々に、経済的に社会的にバックアップする最も重要な機関の一つと認識している。そこで、本研究は、その農民組織が果たす地域農業発展への役割と、農業発展と地域住民の非雇用の軽減や生活水準向上のための農民組織による取組みや各種事業について検討した。</p> <p>本研究では、特に次の3点に焦点をあて分析を行った。第1に、地域農業発展の為の</p>	

農民組織の役割について、第2に、クルネアガラ県の総合農協の役割について、第3に、クルネアガラ県の総合農協と農民的農協の両タイプの役割について、特に、両タイプの農業改良普及事業とその他事業との関係について、また組合員の生活や社会的地位の向上に果たす事業効果などに焦点を置いた。

以上のような各課題を明らかにするために、実態調査の対象を次のようにした。第1に、クルネアガラ県メルシリプラ地区ヒリヤラ農協管内の組合員38戸、非組合員19戸、第2に、当該県の全ての農協、19総合農協と8農民的農協、第3に、当該県のニカワラチャ地区にある両タイプ農協の組合員116戸（総合農協54戸、農民的農協62戸）であり、農協の理事及び農業経営主に対する聞き取り調査を行った。

この実証的研究によって次の点を明らかにしている。第1に、総合農協の組合員農家と非組合員農家の経営比較によって、総合農協が現在の政治経済的情勢の中で、①農業生産性向上の為の農業改良普及、②多収性の種子粃や肥料・農薬の供給、③農業金融や地域事業に必要な資本の供給、④農産物販売などの農業発展に関わる多様な事業を行う重要な組織であることを明らかにした。第2に、この総合農協が、農村の金融業者から組合員を守り、集团的にまたは個人的に農業新機軸を取り入れ、地域内雇用機会を作り、労働力の地域間産業間移動を可能とし、社会福祉を向上させるような役割も果たしていること、つまり、その組織がゼロ・サムだけが存在する農村へポジティブ・サムを導入したことを明らかにした。第3に、総合農協と農民的農協の各管内組合員農家の経営比較によって、農民が農協事業から多くのいいサービスを得る為には、農民とともに農協事業を計画し、決定し、実施していく、農民参加による決定や農民と組織間での相互作用関係が重要であり、特に農民的農協の組織運営、事業方式など評価すべき点を明らかにした。また、農民的農協の分析から、他の農協事業と相互関連性が強い農業改良普及事業を効果的に行うには、農民を圃場団地別か小さな村別に積極的に組織化することが重要であり、これは農民組織である総合農協の発展にとっても重要な条件であることを明らかにした。さらに、政府による農業開発の政策や計画が協同組合運動の弱点を軽減するための管理運営と貧困者が幅広く従事する農業関連部門に対して向けられることの重要性を明らかにした。

以上のように、本研究は、スリランカの協同組合を事例とする克明な実態調査分析から、世界の開発途上国の協同組合のあり方にまで及ぶ価値ある新知見を提起した。そこで、本論文は、博士（農学）の学位論文として十分に価値あるものと判定した。

最終試験結果の要旨

学位申請者 氏名	MALLIKA BADDAGE RANATHILAKA		
審査委員	主査	佐賀	大学 教授 白武義治
	副査	佐賀	大学 教授 小林恒夫
	副査	鹿児島	大学 教授 岩元 泉
	副査	宮崎	大学 教授 小八重祥一郎
	副査	琉球	大学 教授 仲地宗俊
審査協力者			
実施年月日	平成 19 年 1 月 13 日		
試験方法（該当のものを○で囲むこと。）		(口答)・筆答	
<p>最終試験結果の要旨</p> <p>上記の主査および副査の5名は、平成19年1月13日の公開審査会において、学位申請者に対して、学位申請論文の内容について説明を求め、その内容および関連事項について試問を行った。具体的には別紙のような質疑応答がなされ、いずれも満足できる回答を得ることができた。</p> <p>以上の結果から、審査委員会は申請者が博士（農学）の学位を受けるに必要なかつ十分な学力ならびに識見、研究能力を有すると認めた。</p>			

学位申請者

氏名

MALLIKA BADDAGE RANATHILAKA

[質問1] よく纏まっていると思います。当初のマクロ的計量分析の意図を説明して欲しい。

[回答1] スリランカにおける1977年から1996年までのGDPの成長が貧困の減少にどのような関係があったかを分析しています。独立後、政府は経済発展のため借款や外資の導入を積極的に行ってきましたが、その結果、少しのGDPの成長はみられたものの、貧困問題は相変わらずの状況で進んでいます。つまり経済成長と貧困問題には関係がなかったとみられます。貧困問題は多くの貧しい人達が就業している農業関連産業の発展と関連があると思われまます。

[質問2] 農協とその組合員農家との関係、農協の当面する問題を具体的に説明してください。

[回答2] スリランカでは、総合農協が大型化を進め、事業も金融事業や多様な経済事業に取り組んでいます。しかし、近年、農協経営が困難になっている所や、組合員が減少する所が多くなっています。2000年代には同じ総合農協管内でその組合を離脱して新しい農協を作る所もでています。その要因は農協事業が脱農し営農指導など組合員農家へのサービスが減少しているところにあります。組合員農家へのサービスを強め、農業所得向上を図ることで組合員の農協事業離れを防止することが重要であると思われまます。

[質問3] とても興味深い研究だと思います。新設されている農民的農協は組合員数が非常に少ないのに金融事業を行っていますが、他の民間の大銀行と提携して支援を受けているのですか。

[回答3] 農民的農協は他の銀行から支援を受けていません。その原資は組合員の小さな出資金で運営されています。バングラデシュのグラミン銀行に類似しており、農家の少数グループに貸付けられ、そのグループのうち1人が借金しても返済については連帯責任制を採っています。

[質問4] 総合農協と農民的農協の差異を説明してください。総合農協は広範囲に地域全体の人が組合員となっており、農民的農協の場合はその地域住民のうち農民だけで組織しているものなのか、あるいは両農協が全く独立しているものか、説明してほしい。その両組合の組織や運営や事業に関することは同じ法律に依っているのか、説明してください。

[回答4] 総合農協は政府が政策によって、従来の多様な専門農協を地域で統合して創設したものであり、その後、その小さな総合農協をさらに地域で統合し大型農協を創設したが、その組合員数や取扱金額は大きくなっています。しかし、その総合農協の事業は農業サービスを小さくしていったので組合員は当該農協を離れていきました。そして、その離れた農民によって、当該農協管内にその農民の出資金で新たに作られたのが農民的農協であります。その農民的農協の規模は小さく、当該地域で農業に主体をおいた地域などで組織されています。総合農協と新しい農民的農協は同じ農協法に依拠しています。